

# 令和5年5月22日～5月28日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和5年度第4報)

## 1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

5月22日～5月28日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5月23日、24日の「ほぼ安全」を示す21未満を除き、「注意」を示す21以上25未満となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、暑さ指数(WBGT)は、23日から26日は10年間平均値より低くなり、特に5月23日、24日は3程度低くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、東京、高知、福岡、鹿児島で「警戒」を示す25以上になる日があり、那覇では「厳重警戒」を示す28以上になる日がありました(表1、表2参照)。

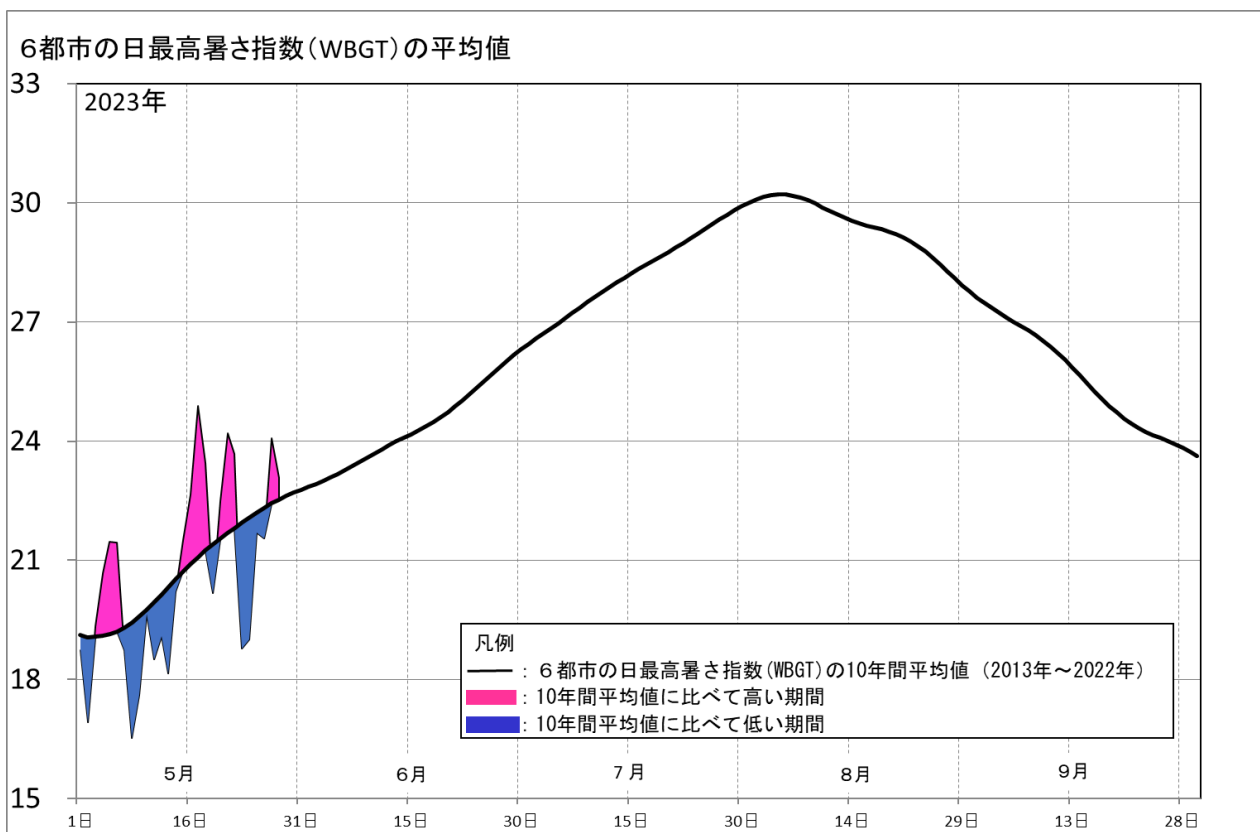


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(5月22日～5月28日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
22	15.6	19.9	19.6	26.7	24.9	24.9	22.8	25.2	23.2	24.3	29.0	23.7
23	12.6	16.4	17.5	14.1	20.9	19.3	19.1	21.8	21.8	23.3	23.3	18.8
24	14.0	16.6	16.4	18.6	18.7	19.4	19.1	20.2	21.9	22.0	23.9	19.0
25	19.4	19.4	19.8	22.0	22.5	22.3	20.0	21.4	23.6	23.5	25.9	21.7
26	19.1	20.2	18.6	22.1	21.3	22.3	21.8	21.0	23.2	25.2	25.5	21.6
27	22.0	23.1	22.4	24.2	24.6	23.8	22.0	23.6	27.4	26.1	28.2	24.1
28	19.5	19.1	20.2	24.1	22.7	24.1	21.4	24.7	26.0	27.6	28.2	23.1

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の5月22日～5月28日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
25以上	0	0	0	3	0	0	0	1	9	13	44

ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

## 2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

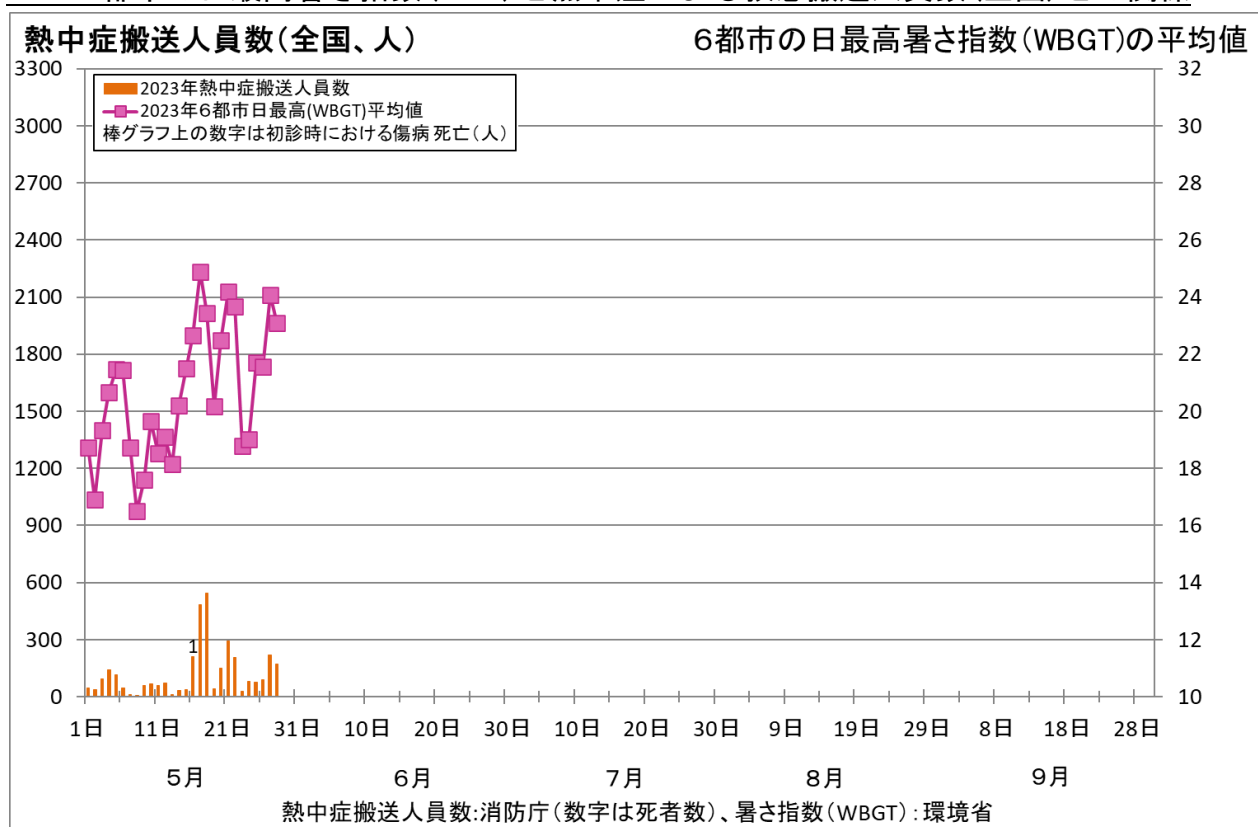


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

5月22日～5月28日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5月23日、24日の「ほぼ安全」を示す21未満を除き、「注意」を示す21以上25未満となりました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が5月22日の208人、27日の219人などで、5月22日～5月28日の総数は875人となりました(図2)。

### 3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

5月22日～5月28日の間、熱中症警戒アラートの発表はありませんでした。（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（5月22日～5月28日）

地方※ <sup>1</sup>	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均※ <sup>2</sup>	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方※ <sup>1</sup>	中国	四国	九州北部※ <sup>3</sup>	九州南部・奄美		沖縄
域内平均※ <sup>2</sup>	0	0	0	0		0
のべ回数	0	0	0	0		0

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」  
回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

### 4. 今後の見通し(5/31 14:30時点)

6月2日までは、全国で「警戒」を示す25以上に、九州地方以南で「厳重警戒」を示す28以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（5月31日発表、6月1日～6月12日）によると、「北日本の向こう2週間の気温は、平年並か高い日が多いですが、冷涼な空気が流れ込む6月4日頃は低くなる所があるでしょう。

東日本、近畿地方、中国地方、四国地方、九州北部地方の気温は、向こう1週間程度は冷涼な空気が流れ込みやすいため平年並か低い日が多く、かなり低くなる所もあるでしょう。その後は平年並か高いでしょう。

九州南部・奄美地方の気温は、6月3日頃まで暖かい空気に覆われやすいため高い日が多く、かなり高くなる所もあるでしょう。その後は平年並の日が多いでしょう。

沖縄地方の向こう2週間の気温は、平年並か低いでしょう。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

